

2016.8.10 WED 17:30-19:00 @ 佐賀大学まちづくりサテライト
ゆつつら〜と館

656 広場

佐賀市呉服元町 / 2階学びの広場

会場: ゆつつら〜と館

計画敷地: 新馬場通り一帯

松原神社

佐賀大学都市工学科の学生による建築デザイン提案の発表

門前に集まって住む

佐賀大学都市工学科3年生(30名)が佐賀市松原神社の門前の新馬場通り一帯を敷地として取り組んだ中低層集合住宅のデザイン提案を、敷地近くのゆつつら〜と館で展示しています。かつての社寺の門前は、旅芸人や商人など「無縁」の民により外部の文化が持ち込まれ、多様な人々と多彩な文化が交錯する盛り場となっていました。門前は時代により役割を変えながら現在に至り、地方都市の門前は空洞化しているものも少なくありません。そういった社寺の門前という歴史ある敷地に対して、場所性を踏まえながら、現代における多様なライフスタイル・文化などを編纂し、「門前に集まって住む」かたちを「物語」のある空間としてデザイン提案しました。高層マンションとは異なる集住のあり方が、佐賀のまちなか再生においてどのような課題と可能性を持っているのか、まちのみなさんとともに考えてみたいと思います。

翌日 2016.8.11 THU は作品の模型と図面を展示します (10:00-16:00 @ ゆつつら〜と館)

主催: 佐賀大学大学院都市工学専攻

共催: 低平地研究会都市空間部会

後援: ユマニテさが 日本建築学会佐賀支所

お問い合わせ: 後藤隆太郎 (佐賀大学大学院工学系研究科・准教授)

0952-28-8954

rgoto@cc.saga-u.ac.jp

学生の提案は佐賀大学都市工学科専門科目「建築都市デザイン演習II」(担当: 後藤隆太郎・田口陽子)において取り組まれたもので、今回それらを地域において発表する機会としています。

(コミュニティ・キャンパス佐賀 アクティベーション・プロジェクト F: 地域空間再生デザイン・プログラム)

